

2007年海洋部10大ニュース!

～今年もやります、編集部が独断で選ぶトピックス～

高知県海洋部

か つ お 通 信

高知市丸の内
高知県海洋部
発行人 坂東 隆志
編集人 海洋 企画課
定 価 無料

1月	県鯉鮪漁協の解散が明らかに
4月	上ノ加江に総合交流施設「わかしや」完成 海洋局から海洋部へ
5月	室戸漁協が破産手続きを開始
8月	水産大手「極洋」が大月町でマグロ養殖開始 19漁協が県1漁協への参加を可決
10月	県内各河川でアユが有史以来の不漁
11月	土佐湾で大型のカツオやヨコが豊漁
12月	宿毛湾まき網でマイワシが過去最高の大漁 燃油高騰で漁業に大打撃

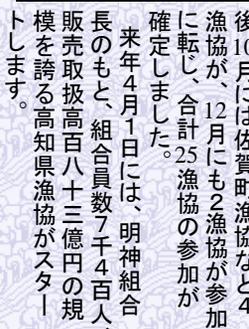
■マグロ業界再編
1月には長年本県の水産業界を牽引し、「県カツ」の名で親しまれてきた遠洋マグロ、近海カツオ漁業者で組織する県鯉鮪漁協が解散することを明らかにしました。
国際的な資源管理の強化、資源の減少に燃油高騰が追い打ちを掛け、

この一年を表す字は「偽」。食品業界や建築業界は偽装に揺れました。また、疲弊した地方により参院選では民主党が躍進し、政権与党、政府もやっと地方活性化を重視し始めた年でもありました。
一方、高知県のこの一年はと言うと、ポンバルディア機事故、東洋町核廃施設問題、16年ぶりの県政トップ交代など全国的に大きく報道される出来事も多く、歴史的にも重要な意味を持つ年となりました。
今回は、毎年恒例(?)となりましたが、編集部が独断と偏見で選んだ「海洋部10大ニュース」のご紹介を通じ、本県水産業界の一年を振り返ってみます。



また5月には、遠洋マグロ業者が多く在籍し、かつて県内最大の経営規模を誇った室戸漁協が、遠洋漁業の経営悪化の余波を受けて経営が行き詰まり、41億円の負債を抱え、破産手続きを開始しました。
一方、マグロ資源の悪化からマグロ養殖が脚光を浴びてきており、8月には大月町安満地において大手水産会社の「極洋」が、地元養殖業者と共同でクロマグロ養殖を開始しました。

上部団体の日カツ連の整理再編の流れを受けたものでした。
また5月には、遠洋マグロ業者が多く在籍し、かつて県内最大の経営規模を誇った室戸漁協が、遠洋漁業の経営悪化の余波を受けて経営が行き詰まり、41億円の負債を抱え、破産手続きを開始しました。



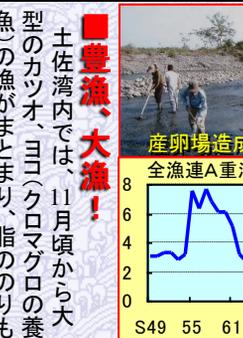
8月には県1漁協への参加の是非を問う臨時総会が県内41漁協で一斉に開催され、19漁協が参加を可決しました。その後10月には佐賀町漁協など4漁協が、12月にも2漁協が参加に転じ、合計25漁協の参加が確定しました。
来年4月1日には、明神組合長のもと、組合員数7千4百人、販売取扱高百八十三億円の規模を誇る高知県漁協がスタートします。

■局から部へ
組織改編により海洋局から海洋部へと名称が変更されるとともに、新たに着任した坂東部長の下、新たに重要課題の県1合併と流通対策担当のチーフの配置により、政策を強力に推進する体制が整いました。

■交流人口拡大
4月には中土佐町上ノ加江地区に総合交流施設「わかしや」が完成。上ノ加江漁協は交流人口の拡大を目指し漁師体験やコンブオーナーに取り組んでおり、「わかしや」はその中核施設として整備され、女性部運営の喫茶店も好評です。

■深刻な川の状態
今年は、5、6月のアユ漁の解禁前には既に、各河川でアユの遡上が少ないという情報も多く、漁模様が上向くことなく推移しました。正確な統計はまだ公表されていませんが、過去最低レベルの漁獲量となることは確実な状況です。

■豊漁、大漁!
土佐湾内では、11月頃から大型のカツオ、ヨコ(クロマグロ)の養魚の漁がまとまり、脂のりも良く高値で取引され、各市場は久々に賑わいました。
また、10月以降、宿毛湾の中型まき網で過去に例がない水揚げ(3カ月で六千五百トン)を記録しました。小型のため養殖用の餌として利用されますが、平均単価も餌用としては比較的高値で推移しました。



■燃油高騰そして...
燃油消費の多い生産構造を持つ漁業は、燃油高騰により大打撃を受け、県全体で年間52億円のコスト増となっています。
来年は、効率的な生産体制の構築と併せ、コストに見合った魚価が得られる流通体制の確立に向けて取り組んでいきたいと思います。

県1漁協を推進しましょう
● 購買は漁協を利用しましょう
● 預金、公共料金は信漁連へ

【編集後記】
仕事に家事に育児とこれだけ頑張っているにも関わらず、お父さんご家庭での地位は低下する一方。ただでさえ忍び辛い布団で寒さに耐えているのに、とうとう寝る場所もすきま風吹きさらす窓際へと追いやりられた。今夜も枕は涙で濡れるでしょう(T.T)

【コラム】「乖離」
H16年以降続く燃油高騰は第2次オイルショックを上回り、一向に収まる気配を見せない。産油国の生産体制、経済新興国の需要増等様々な要因が挙げられるが最大の要因は市場規模が桁違いの証券市場から原油市場への余剰資金の流入だ。実質経済からはかけ離れた額に膨らんだマネーゲームのツケは最も弱い生活者に回ってくる。市場経済至上主義は既に破綻している。

流通改善・販売促進はお任せを!
水産物を売り出したい、一次加工をしたいなどの相談があれば、まずはお電話下さい。選りすぐりのスタッフを直ちに急行させ、きっとあなたのお役に立ちます!

- 室戸漁業指導所 TEL 0887-22-0645
- 中央漁業指導所 TEL 088-856-1164
- 土佐清水漁業指導所 TEL 0880-82-0569
- 宿毛漁業指導所 TEL 0880-67-0767

